



JAPAN EMF INFORMATION CENTER

2025年度業務計画(案)

電磁界情報センター

2025年度業務計画の考え方(1/4)

<2025年度の活動方針>

これまで築き上げてきた、信頼できる「第三者機関」に求められる高度な専門性の蓄積と情報収集、情報提供を継続するとともに、WEBやSNSを活用し、情報提供活動を充実させる。

- 国際的機関との連携や新たな電磁波発生源の測定調査など専門性の向上を図る。
- 依頼講演など現地開催セミナーの機会を掘り起こしするとともに、センター主催のWEBセミナーを定期開催し、情報提供活動の充実を図る。
- 妊婦を対象とした知識啓発活動を関係団体と連携して継続実施し、電磁波への過大な不安の払拭と正しい理解促進を図る。

に重点を置く。

2025年度業務計画の考え方(2/4)

<2025年度業務計画の具体的力点>

1. 情報調査業務

- 国際的機関との連携により、最新学術情報の収集とデータベースへの蓄積に努めるとともに、必要に応じて文献の日本語翻訳や訪問聞き取りなどの深掘り調査を行う。
- 問い合わせ内容等を踏まえ、これまでにJEICで測定を実施していない電磁波発生源として、**鉄道から発生する電磁波の測定**を実施し、国内外の学会等で発表する。また、その他、新たな測定対象についても検討を行う。
- EMFリスクミ国際協調に向けた取組として、各国のリスク認知調査を行う。

2025年度業務計画の考え方(3/4)

＜2025年度業務計画の具体的力点＞

2. 情報提供・管理業務

- SNS活用により、**動画コンテンツの公開**、WEBセミナーの開催案内、磁界測定器貸出サービス等を発信し、効果的・効率的な情報提供を図る。
- 行政や諸団体等に働きかけ依頼講演の機会を掘り起こしするとともに、センター主催のWEBセミナーを定期開催し、より多くの層への情報提供を図る。
- 情報の媒介者(学校保健・社会医学・看護学関連学会等)を対象とした情報提供活動を継続して実施する。

2025年度業務計画の考え方(4/4)

＜2025年度業務計画の具体的力点＞

2. 情報提供・管理業務(続き)

- 母子衛生研究会と連携した、母子保健セミナー事業および母子健康手帳配布にあわせた電磁波に関する妊婦向けパンフレット配布事業の継続により知識啓発を図る。
- 賛助会員(会費)について、ニュースレターやJEIC活動報告等による最新情報の提供、講演会等の機会を活用した賛助会員の募集により維持・拡大を図る。